

令和8年7月13日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 劉 庭秀
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻国際政治経済論講座の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職種・人員 准教授、または講師 1名
2. 専門分野 持続可能性科学(環境影響評価・環境政策・資源循環・脱炭素など)
3. 担当科目 大学院授業科目:講座関連の大学院授業科目(講義及び演習等)、統計学入門(日・英)、リスクマネジメント論、持続可能な社会論(日・英)など、全学教育のSDGsプログラムなど
4. 応募資格
 - (1) 本研究科において、教育・研究に従事する資格があると認められる者で、博士の学位を持ち、大学等における講師、助教、または助手としての教育経験年数3年以上であることを要する。ただし、他の条件において特に優れている場合にあっては上記の年数を短縮することができる。
 - (2) 持続可能性科学(環境影響評価・環境政策・資源循環・脱炭素など)とし、分野横断的な研究(AI for Science、社会調査、社会実験、環境影響評価など)や国際共同研究について十分な実績があると認められる者であり、独立した研究者として研究に取り組む意欲があること。なお、本学において本研究科のグローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム(G2SD)に取り組み、本研究科の連携活動(産学連携や地域社会との連携、本学他部局との連携)および国際交流活動に関わりうる者であること。
 - (3) 本研究科国際政治経済論講座の准教授、または講師として、本研究科の大学院授業科目(講義及び演習等)、東北大学SDGsプログラム、産学官連携プロジェクト、ワークショップ、寄付講義、SDGs出前授業等の企画・運営などの関連業務を担当できる者であること。
 - (
 - (4) 国籍は問わないが、日本語および英語で講義・学生指導ができる者であること。
5. 雇用形態
 - (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
 - (2) 原則として本研究科が定めるテニユアトラック制度を適用する。
 - ・ テニユアトラック教員の任期は4年とし、テニユア付与に係る審査は、任期満了の

1 年前までに実施する。

- ・ 特に優れていると認められる場合は、テニユアトラック制によらず任期の定めのない採用とすることもある。
- ・ その他、詳細については総務企画係へお問い合わせください。

6. 採用予定日 令和9 (2027) 年4月1日

7. 提出書類

- (1) 履歴書1部 (指定様式)
- (2) 研究業績一覧表1部 (著書、論文、研究ノート、学会予稿集論文、博士論文、その他等に分け、査読の有無・掲載ジャーナルのImpact Factor・Cite Scoreを明記すること。また、Corresponding AuthorやFWCI Top 10% (Top 10%引用) 論文についても明記すること。
- (3) 研究業績のうち、主要な業績3点 (抜刷り、コピーでも可)。なお選考中に研究業績の追加提出を求めることがある。
- (4) 主要な業績1点について、要旨を1,000字程度に日本語、または英語でまとめて添付すること。
- (5) 研究及び教育、産学及び社会連携、国際共同研究に関する実績と抱負 (A4、1~2枚程度に日本語、または英語でまとめること)。
- (6) 授業計画書 (「持続可能な社会論」および「統計学入門」それぞれ15回、日本語および英語、それぞれA4サイズで1ページ以内) ※必ず、AI for Scienceに関する内容を含めること。
- (7) 外部資金獲得状況 (最近5年間)
- (8) 必要に応じて、推薦状などほかに資料の提出を求めることがある。

8. 応募締切 令和8 (2026) 年8月31日 (月) (必着)

9. 選考方法 書類選考後、面接 (日本語および英語での模擬授業を含む) を実施する予定である。模擬授業の内容は別途通知する。面接に要する交通費は支給しない。なお、面接はオンライン方式で行う可能性がある。

10. 書類提出先 〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

東北大学大学院国際文化研究科長 宛

* 封筒に「**応募書類 (国際政治経済論講座) 在中**」と朱書き、書留郵便で送付すること。

* 応募書類は原則として返却しない。

11. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務企画係

電話 022 (795) 7541

FAX 022 (795) 7583

電子メール int-som@grp.tohoku.ac.jp

東北大学大学院 国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

11. その他

- ・ 東北大学は裁量労働制を導入しております。
- ・ 東北大学は多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion : DEI) を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学DEI 推進宣言WEB ページ<https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

- ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

- ・ 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現する

ことを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員22 名）及び青葉山みどり保育園（定員116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/en/support_program/consulting/for_family/

人事企画部WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>